

海外事業の資金管理基礎講座

— 会計・税務・財務の複合的視点から —

●プログラム●

【開催主旨】

海外に子会社を持つ企業においては、資金の流れが複雑化し、連結ベースでの資金管理が行いづらくなる一方、経理・財務担当者には「海外子会社への資金供給は出資と融資のいずれによるべきか」、「海外子会社からどのように資金を回収すればよいか」等々の疑問に答えられるだけの知識が求められています。

本セミナーでは、海外事業の資金管理の基礎を確認した上で、海外子会社や海外地域統括会社（中間持株会社や金融子会社）に関する資金調達・資金還流の実務、グローバル・キャッシュ・マネジメントに求められる視点についても、会計・税務・財務の観点から総合的に解説致します。

◆日時：2015年3月12日（木） 13:30～17:00

◆会場：東京・麹町 「企業研究会 セミナールーム」

◆講師：佐和 周氏（さわ あまね）

佐和公認会計士事務所 代表、ASA IFRS サービス (株) 顧問

関西学院大学 専門職大学院 経営戦略研究科 非常勤講師

公認会計士、税理士

【略歴】

1999年 東京大学経済学部を卒業、同年朝日監査法人（現 有限責任 あずさ監査法人）に入所。日系グローバル企業や外資系企業の監査のほか、財務デュー・デリジェンス業務や企業価値評価業務等に従事。2008年 英国ケンブリッジ大学経営大学院（Cambridge Judge Business School）首席修了（MBA）。2009年 KPMG 税理士法人に転籍。日系グローバル企業や外資系企業の税務申告のほか、国内・海外税務デュー・デリジェンス業務や国際税務に係るアドバイザリー業務等に従事。2011年 佐和公認会計士事務所を開設。海外進出企業の資金管理業務に関するコンサルティング等を行っている。

【著書】

『海外進出企業の資金・為替管理 Q&A: 調達から投資・回収・還元まで』、『これだけは押さえておこう 国際税務のよくあるケース 50』、『海外進出・展開・撤退の会計・税務 Q&A』、『海外進出企業の税務調査対策チェックリスト』、『英和・和英 海外進出の会計・税務用語辞典』、『アジア進出・展開・撤退の税務』、『クロスボーダーM&Aの税務: ストラクチャー選択の有利・不利判定』（共著）、『担当者の疑問に答える タックス・ハイブンを活用した税制 Q&A』（共著）、『貸借対照表だけで会社の中身が8割わかる』（中央経済社）など。その他、月刊『国際税務』への連載など、雑誌への寄稿多数。

●参加要領●

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

*当会ホームページ (http://www.bri.or.jp) からもお申込みいただけます

●受講料● 1名 (税込み、資料代含む)

| | | |
|-----|---------|--------------|
| 正会員 | 32,400円 | 本体価格 30,000円 |
| 一般 | 35,640円 | 本体価格 33,000円 |

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日（開催日1週間～10日前までに）受講票・請求書をお送り致します。

●申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより【TOP】→【公開セミナー】→【よくあるご質問】をご参照下さい。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

一般社団法人企業研究会

担当：村野 E-mail murano@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 31MT ビル 2F

TEL 03-5215-3550 FAX 03-5215-0951

| | | | |
|-------------|--|-----------------------------|--|
| 141615-0601 | | ※ 2015. 3. 12 海外事業の資金管理基礎講座 | |
| 会社名 | | | |
| 住所 | | 〒 | |
| TEL | | FAX | |
| 部課 役職 | | フリガナ お名前 | |
| e-mail | | | |
| 部課 役職 | | フリガナ お名前 | |
| e-mail | | | |

海外事業の資金管理基礎講座

—会計・税務・財務の複合的視点から—

1. 海外事業の資金管理の基礎

- (1) 資金の流れの捉え方—調達・投資・回収・還元
- (2) 会計・税務・財務の複合的視点の必要性
- (3) 海外子会社のキャッシュ・フロー計算書の読み方
- (4) 効率的な資金の流れとは—海外との資金のやり取りに際して考えるべきこと

2. 海外子会社に係る資金管理の実務

- (1) 海外子会社への資金供給の実務
 - ① 海外子会社への資金供給方法—出資と融資はどちらが有利か
 - ② 出資・融資以外の資金供給方法
 - ③ 海外子会社による外部資金調達のメリット・デメリット
- (2) 海外子会社からの資金還流の実務
 - ① 日本親会社への資金還流方法—配当・利息・ロイヤルティ
 - ② 海外子会社の配当政策はどのように決めればよいか
 - ③ 融資の際の利率はどのように決めればよいか
 - ④ ロイヤルティの料率はどのように決めればよいか
 - ⑤ 資金還流方法についての有利・不利—税務の観点から

3. 海外地域統括会社（中間持株会社・金融子会社）に係る資金管理の実務

- (1) 海外地域統括会社の目的と設立国の選定
- (2) 海外地域統括会社経由の資金供給と回収—税務メリットの追求
- (3) 海外地域統括会社運営にあたっての税務リスク

4. グローバル・キャッシュ・マネジメント

- (1) グローバル・キャッシュ・マネジメントに必要な視点
- (2) グローバル・キャッシュ・マネジメントの段階